

科目名	臨床薬理学 Clinical Pharmacology	科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	佐藤ゆか*, 泉雅之*, 黒澤昌洋*, 小島宏貴*, 坂田憲昭*, 福石信之*, 冨喜田恵子* *:実務家教員	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	前学期
科目概要	薬物治療における看護職の役割には、薬物治療に関する正しい理解のもとで対象を支援していくことがあげられる。本科目では、薬物治療の基礎として、治療や診断のために使用される様々な医薬品とその投与方法、薬理作用、体内動態、副作用及び毒性について学修し、薬物療法に伴う対象の状態を的確に把握し必要な看護実践を判断する力を養う。さらに、投薬方法、患者モニタリング、服薬管理、患者指導などの実際を学ぶ。				
目標	1 薬物の基本的な作用機序、生体内動態、薬理作用と副作用、適正使用と管理について説明できる。 2 各種疾患の薬物治療に用いられる代表的な医薬品の薬理学的特徴を説明できる。 3 薬物治療における患者モニタリング、服薬管理、服薬指導における看護について述べるができる。				
内 容	1	臨床薬理学の基礎	薬物-受容体相互作用、薬物動態	坂田憲昭	
	2		薬物代謝・薬物の適正使用と管理	坂田憲昭	
	3	神経情報伝達物質の薬理学	神経情報伝達物質の薬理学	坂田憲昭	
	4	中枢神経系に関する薬理学①	睡眠薬・抗不安薬・抗精神病薬	坂田憲昭	
	5	中枢神経系に関する薬理学②	抗うつ薬・パーキンソン病治療薬・抗てんかん薬	坂田憲昭	
	6	化学療法に関する薬理学①	総論：投与時間・投与スケジュール・投与様式、血中動態、標的レベル、併用薬など	福石信之	
	7	化学療法に関する薬理学②	化学療法薬、ホルモン療法薬、分子標的薬など	福石信之	
	8	感染症に関する薬理学①	抗感染症薬の使い方、有害作用、抗生物質の分類と種類など	坂田憲昭	
	9	感染症に関する薬理学②	抗菌スペクトル、菌交代現象など	坂田憲昭	
	10	日常臨床で重要な薬剤①	降圧薬、血管拡張薬、利尿薬、強心薬など	小島宏貴	
	11	日常臨床で重要な薬剤②	抗凝固薬、抗血小板薬、糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬など	泉雅之	
	12	日常臨床で重要な薬剤③	消炎鎮痛薬、副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬、など	泉雅之	
	13	薬剤を使用する患者のモニタリングと生活調整、回復力の促進	虚血性心疾患、呼吸不全を有する患者への支援(全体討議含む)	黒澤昌洋	
	14		向精神薬、催眠薬を使用する患者への看護支援(全体討議含む)	冨喜田恵子	
	15		抗微生物薬を使用する患者への看護支援 (全体討議含む)	佐藤ゆか	
学修方法	1 授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 2 教育方法の検討では、討議を通して学びを深めていく。 3 1コマあたり、90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4 授業内容への質問、プレゼンテーション及びレポートの内容についてフィードバックを行う。				
評価方法	授業への参加度(20%)、レポート課題(50%)、試験(30%)により、総合的に評価する。				
教科書・参考書	テキスト：特になし。 参考書： 1 医療情報科学研究所編：「薬がみえるvol. 1～3」, メディックメディア, vol. 1 (2014/10), 3,960円(税込), vol. 2 (2015/07), 3,960円(税込), vol. 3 (2016/11), 4,290円(税込) 2 デービッド・E. ゴーラン他編：「ハーバード大学テキスト 病態生理に基づく臨床薬理学」, メディカル・サイエンス・インターナショナル社, (2006/12), 13,200円(税込) 3 長友孝文他編：「医療薬学 最新薬理学」, 廣川書店, 第10版(2016/9), 8,360円(税込)				
履修上の注意点	3分の2以上の出席を満たしている場合、評価対象とする。				
オフィスアワー	佐藤ゆか：木曜日 16:20～17:50 看護学部棟4階 N453研究室 泉雅之：月曜日 17:00～18:30 C棟7階 教授室7 黒澤昌洋：月曜日 16:30～18:00 C棟5階 個人研究室③ ※ 兼任・非常勤講師については別紙にて配布する。				